



2024事業年度 決算概要 (有償資金協力勘定)

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

2025年7月

独立行政法人 国際協力機構



JICAの事業

以下の手法を組み合わせ、開発途上国の異なる課題やニーズに合わせた効果の高い協力を行っています。

技術協力

有償資金協力

無償資金協力

JICA海外協力隊派遣

市民参加協力

移住者・日系人支援

国際緊急援助

調査・研究

民間連携事業

目次

- 1. 2024年度 決算概要（有償資金協力勘定） p4
- 2. 2025年度予算・資金計画 p7
- 3. 債券発行実績 p8
- 4. 投資家様への情報発信 p10

1. 2024年度 決算概要（有償資金協力勘定）

1-1. 損益計算書

損益計算書：前年同期との比較

（単位：億円）

	2023年度 (A)	2024年度 (B)	増減 (B)-(A)	主な増減要因
経常費用				
債券利息・借入金利息等	787	991	204	債券残高や財政融資資金借入金残高の増加等
業務委託費	131	197	67	
金融派生商品費用	158	62	▲96	金融派生商品取引の時価評価増
人件費・物件費	217	231	14	
貸倒引当金繰入	-	6	6	与信関係費用の増加
その他	41	131	91	
経常費用合計	1,334	1,619	285	
経常収益				
貸付金利息	1,441	1,537	97	貸付金残高の増加
受取配当金	43	15	▲28	
貸付手数料	41	41	0	
金銭の信託運用益	167	62	▲104	時価評価減（為替差額等）による減少
貸倒引当金戻入	134	-	▲134	
その他	244	255	11	
経常収益合計	2,069	1,910	▲159	
臨時損益	▲0	▲0	0	
当期総利益（▲当期総損失）	735	290	▲445	

（注）単位未満四捨五入。端数処理の関係で合計が一致しないことがあります。

1-2. 貸借対照表

貸借対照表：前年度末との比較					(単位：億円)
	2024年3月末 (A)	2025年3月末 (B)	増減 (B)－(A)	主な増減要因	
現金及び預金	5,102	6,548	1,445	資金収入が貸付実行額等を上回ったため	
貸付金	166,796	176,939	10,142	貸付実行による増加	
貸倒引当金	▲3,141	▲3,147	▲6		
投資有価証券・関係会社株式・ 金銭の信託	1,973	2,131	158	新規出資による増加	
その他	1,392	1,264	▲128	スワップ取引の差出担保の減少	
資産の部合計	172,124	183,735	11,611		
債券	15,122	16,696	1,574	国内財投機関債、政府保証外債の発行	
財政融資資金借入金	52,778	61,616	8,838	新規借入による増加	
その他	775	846	71		
負債の部合計	68,676	79,158	10,483		
資本金	83,441	84,254	813	政府出資金の受入れ	
準備金	19,097	19,832	735	2023年度末処分利益の積立	
当期末処分利益	735	290	▲445		
評価・換算差額等	175	200	25		
純資産の部合計	103,448	104,577	1,129		
自己資本比率	60.10%	56.92%	▲3.18%	(純資産の合計÷負債・純資産の合計)	

(注) 単位未満四捨五入。端数処理の関係で合計が一致しないことがあります。

1-3. 債権の状況

銀行法及び金融再生法に基づく債権

(単位：億円)

- 銀行法及び金融再生法に基づく債権は、貸出条件緩和債権回収が進んだ一方、三月以上延滞債権から貸出条件緩和債権への振替があったことにより、2024年3月期比384億円減少。
- 銀行法及び金融再生法に基づく債権の比率は6.65%で、2024年3月期比で減少。

	2024年3月期(A)	2025年3月期(B)	差額(B)-(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	—	—	—
危険債権	871	886	15
要管理債権	11,307	10,908	▲399
三月以上延滞債権	3,784	317	▲3,467
貸出条件緩和債権	7,523	10,592	3,068
銀行法及び金融再生法に基づく債権①	12,178	11,794	▲384
正常債権②	154,983	165,538	10,555
合計③ = ① + ②	167,161	177,332	10,171
銀行法及び金融再生法に基づく債権の比率 (①／③)	7.29%	6.65%	▲0.64%
貸倒引当金金額	3,141	3,147	6

(注) 単位未満四捨五入。端数処理の関係で合計が一致しないことがあります。

2. 2025年度予算・資金計画

JICA全体

- 2025年度のJICA全体の事業予算は、技術協力（運営費交付金等）（1,484億円）、有償資金協力（23,100億円）、無償資金協力（1,514億円※）の計約2.61兆円となっています。

（※外務省実施分・JICA実施分を含む無償資金協力の全体予算）

有償資金協力勘定

- 2025年度の有償資金協力の出融資予算は、新興国・途上国における「質の高い成長」支援、及びSDGsに向けたグローバルな課題への対応等を重点取組とし、事業規模は23,100億円を計画しています。

（単位：億円）

		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		当初予算（注）	当初予算（注）	当初予算（注）	予算
出融資規模	出融資規模	14,200	18,940	22,800	23,100
	（うち海外投融資）	(900)	(1,250)	(1,300)	(2,000)
原資	政府出資金	471	478	485	505
	財政投融資	6,417	12,686	16,420	18,825
	（うち財政融資資金借入金）	5,237	10,431	14,770	17,025
	（うち政府保証外債）	1,180	2,255	1,650	1,800
	財投機関債	800	800	800	800
	その他自己資金等	6,512	4,976	5,095	2,970
	合計	14,200	18,940	22,800	23,100

（注）補正予算措置後の出融資規模：2022年度 19,210億円、2023年度 23,000億円、2024年度 27,519億円

3. 債券発行実績

3-1. 直近の発行実績・今後の発行計画

- 2008年12月以降、財投機関債は計82回（総額9,890億円）、政府保証外債（海外市場向けドル建）は、2014年以降、計10回（総額約72.3億米ドル）発行しました。

直近の発行実績（いずれもサステナビリティボンド）

＜2024年度財投機関債＞ 計540億円を発行

- ・2024年11月、ジェンダー平等や女性のエンパワメント推進に資する事業に調達資金を充当する「ジェンダーボンド」（2回目）を発行

＜政府保証外債＞ 2025年5月に10億ドルを発行済

財投機関債		発行額	発行日	期間（償還日）	応募者利回り	共同主幹事
2024年度	第79回	200億円	2024年 6月27日	5年（2029年 6月20日）	0.580%（第355回10年国債+7.0bp）	SMBC日興証券、岡三証券、しんきん証券、みずほ証券
	第80回	200億円	2024年 11月28日	5年（2029年 9月20日）	0.820%（第356回10年国債+11.0bp）	SMBC日興証券、大和証券、岡三証券、東海東京証券 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
	第81回	100億円	2024年 11月28日	10年（2034年 9月20日）	1.181%（第376回10年国債+11.0bp）	SMBC日興証券、大和証券、岡三証券、東海東京証券 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
	第82回 （リテール）	40億円	2025年 3月14日	2年（2027年 3月19日）	0.850%（第346回10年国債+9.0bp）	大和証券、SBI証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、楽天証券
政府保証外債		発行額	発行日	期間（償還日）	応募者利回り	共同主幹事
2024年度	第9回	10億USD	2024年5月21日	5年（2029年5月21日）	4.770%（USD SOFRミッドスワップ+53bp）	大和証券、パークレイズ証券、シティグループ証券、野村證券
2025年度	第10回	10億USD	2025年5月22日	5年（2030年5月22日）	4.367%（USD SOFRミッドスワップ+62bp）	大和証券、パークレイズ証券、シティグループ証券、みずほ証券

ジェンダーボンド

2025年度の計画（2025年度予算政府案）

＜財投機関債予算＞ 800億円

- ・2025年8月に アフリカ・TICADボンド（サステナビリティボンド、年限3年・5年）を発行予定

3-2. テーマ債

- 経営上の重点取組みに関する広報を目的として、ソーシャルボンド（2016年度～） / サステナビリティボンド（2023年度～）の債券フレームワークの下、特定のテーマや地域に資金用途を限定する「テーマ債」の発行に取り組んでいます



2019
年度

2020
年度

2021
年度

2022
年度

2023
年度

2024
年度

2025
年度

TICADボンド

新型コロナ対応
ソーシャルボンド

ジェンダーボンド

ピースビルディ
ングボンド

防災・復興ボンド

ジェンダーボンド
(2回目)

アフリカ・TICAD
ボンド

2019年8月、横浜で行われた「第7回アフリカ開発会議」（TICAD7）の機会に、アフリカでの事業に調達資金を充当する「TICADボンド」を発行

新型コロナ危機対応のため、途上国の保健医療システム・公衆衛生環境の強化、経済対策（途上国中小企業の金融支援等）を目的とする事業に調達資金を充当する「新型コロナ対応ソーシャルボンド」を発行

新型コロナ危機を受け、一層浮き彫りとなった途上国の男女不平等・格差問題に対応するため、ジェンダー平等・女性のエンパワメントを推進する事業に調達資金を充当する「ジェンダーボンド」を2021年9月に発行

平和な社会の実現に向けた取組みを強化するため、紛争・内戦により影響を受けた国・地域等に対する平和と安定や復興に資する事業に調達資金を充当する「ピースビルディングボンド」を2022年7月に発行

自然災害に強靱な国づくりに向けた取組みを強化するため、防災及び災害からの復興を支援する有償資金協力事業に調達資金を充当する「防災・復興ボンド」を2023年9月に発行

新型コロナ禍以降に深刻化したジェンダー格差是正に向け、2回目となる「ジェンダーボンド」を2024年11月に発行。

アフリカの自立的・持続的成長の後押しと民間資金動員の推進を目的に、アフリカ向け事業に資金を充当する「アフリカ・TICADボンド」の発行を予定。
2025年8月には第9回アフリカ開発会議（TICAD9）の開催が予定されている

4. 投資家様への情報発信

IR情報

- 当機構HP「投資家の皆様へ」にて、JICA債の情報を随時更新しています

<https://www.jica.go.jp/about/investor/index.html>

投資家の皆様へ



新着情報

2023.06.30	令和4事業年度決算公告（第1期決算協力機関）について	▶
2023.06.30	令和4事業年度決算概要（第1期決算協力機関）について	▶
2023.06.16	「国際協力機構（JICA）が発行する「サステナビリティボンド」への投資について」として新聞等（掲載）のホームページに掲載されました（掲載サイト）	▶

インパクトレポート

- JICA債を通じて調達された資金が、どのように持続可能な開発やSDGs達成を支えているかをまとめています
- リンク：<https://www.jica.go.jp/about/investor/impact/index.html>



統合報告書（2024年）

- JICAの組織・事業両面での取り組みについて、サステナビリティ推進の観点を加えてご紹介しています

- リンク：
https://www.jica.go.jp/about/disc/report/2024/_icsFiles/afieldfile/2025/04/15/2025033101.pdf



広報誌

- JICA全体の取組み、開発途上国の今についてお伝えしています（偶数月発行）
- リンク：<https://jicamagazine.jica.go.jp/>



アフリカの若者と
共創する未来





お問い合わせ先

独立行政法人国際協力機構

財務部 財務第一課

住所 〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

TEL 03-5226-9279 **FAX** 03-5226-6383

URL <http://www.jica.go.jp/investor/index.html>

免責事項

本資料は、当機構に関する情報提供のみを目的として作成されたものであり、債券の募集、販売などの勧誘を目的としたものではありません。また、本資料に記載されている機構以外の国内機関、国際機関、統計数値などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

債券への投資をご検討される場合には、当該債券の発行にあたり作成される債券内容説明書およびその他入手可能な直近の情報などをご確認頂き、投資家の皆様のご自身の責任でご判断下さいますようお願い致します。